



水から環境と
生活を考える。

I think about life from water.
I do it by oneself.



2019.09.24 肱川 

令和元年のみずから通信 第 28 号 (令和元年 10 月)

暦は秋です

宇和、野村、肱川、大洲、長浜と、ゆったりと長く、支流の多い川。
春夏秋冬、いろんな表情を見せてくれます。
それぞれ育った町の、それぞれの好きな景色があるのではないのでしょうか。
あらためて、美しい川だと思います。



< 肱川あらし >

肱川あらしの季節がやってきました。
今年はどんな絶景が見られるのか、とても楽しみですわね!!



だいきすいしつ 掲示 板

会社内の様子や取組、スタッフのあれこれなど、何気ない日常や情報をご紹介します。

令和元年台風15号、千葉県の大規模停電等で 被災された方々にお見舞い申し上げます。

みずから通信でも、繰り返し伝え続けてきた“災害への備え”。数えると多くの項目にわたりますが、私たちが伝えられるのは『水の大切さ』、『トイレ（排泄）の大切さ』この2つだけです。今回は“災害時のトイレ”に関連する2冊の本を紹介いたします。



「うんちはすごい」 NPO 法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤篤さん著

『トイレトペーパーに、裏表があるって、知ってました?? (▽▽) ニヤリ』
うんち（トイレ）について様々な切り口からとても細かく楽しく、わかりやすく書かれた本。中には難しい内容もあるのですが、敬遠されがちな話題を噛み砕いて、とても為になる知識や驚きの内容が盛りだくさん！排泄の大切さが書かれた、素晴らしい本だと思います。（専務 藤岡の感想）

「明日、地震がやってくる」 世鳥アスカさん著（トイレの自由 長谷川さん推薦）

『9.11 あの日、千葉はこんなかんじだったんだ・・・』
地震が起こったら、生活はどうなるのか。本やニュース等で見聞きし、ある程度知っている感じになっている私たちですが、本当に被害にあった方々の現実にはかないません。むずかしい本や専門的な意見ではなく、被災された方が書かれたマンガです。活字より読みやすく、子供でも想像し、シミュレーションできると思います。一家に一冊、お勧めです！（専務 藤岡の感想）



まごころ課のお手伝いをして頂ける方を募っています

私はプロじゃないOK ゆっくりしか作業できないOK 週末しか時間がないOK
一般の方でもOK お小遣い稼ぎOK 運動がてらOK

毎日仕事がある訳ではありませんが、草刈りやお墓参りの代行など、時期によってはご依頼が集中してしまうことがあります。
どうしても人手が足りない。そんな時に臨時でお手伝い頂ける元気で優しい方はいらっしゃいませんか。
性別、年齢、お住まい場所を問いません。

0893-25-2012 まごころ課まで お電話ください！！



ぼくのLINE
スタッフが
スタンプが
できました。
「うんべいくん」で
検索してね！

